

2015年度と2019年度の度岩木健康増進プロジェクト健診にご参加いただいた男性の皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 男性下部尿路症状とサルコペニア進行の関係についての検討

研究の目的

下部尿路症状（LUTS）とは、膀胱、前立腺、尿道を含む下部尿路の問題に関連する症状を指します。LUTSの一般的な症状には、尿の勢いの低下、頻尿、夜間頻尿、尿漏れなどがあります。LUTSは、いくつかの健康上の有害な疾患と関連します。その中で、最近、筋力低下（サルコペニア）や虚弱（フレイル）と深く関連することが知られています。サルコペニアは、筋肉量の減少や身体機能の低下を特徴とする病態です。これまでの研究で、特に、歩行速度や握力などの身体機能は、LUTS悪化の予測因子であることが知られています。しかし、LUTSの重症度がサルコペニアの悪化を予測できることを示した研究はありません。このため、LUTSの重症度とサルコペニアの進行との関係を、岩木健康増進プロジェクト健診に参加された男性の皆様データのデータを用いて検討することを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2027年3月31日

対象となる方： 2015年度と2019年度の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された男性

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である岡本 哲平の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2014-377-1, 2020-046-4）」の2015・2019年度の健診で取得されたデータ

2015年度

個人記録票（性別、年齢、身長、体重、ウエスト／ヒップ比、腹囲、血圧、握力、長座体前屈）

健康調査票（既往歴、薬物服用状況、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動、睡眠）、うつ質問票、排尿障害質問票（IPSS、OABSS）、性機能障害スコア（IIEF-5）、男性更年期障害質問票（AMS）

身体機能・体力測定（握力、10m歩行速度）、脈波（baPWV）

骨格筋指数（SMI）、体脂肪率

血液項目（血算、総蛋白、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDLコレステロール、血糖、ヘモグロビンA1c、ヘマトクリット、インターロイキン6、フィブリノゲン、血中FDP、血中ホモシステイン濃度、血清テストステロン濃度）

2019 年度

身体機能・体力測定（握力、10m 歩行速度）

2015 年度と 2019 年度の両方に参加された男性の皆様の上記のデータを解析に使用します。2015 年度の測定したデータをベースラインとして、ベースラインの下部尿路症状の重症度が、2019 年度に測定した運動機能（握力、10m 歩行速度）の変化に関連するかを検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2014-377-1, 2020-046-4）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院臨床試験管理センター（泌尿器科） 講師 岡本 哲平 住所 〒036-8563 青森県弘前市本町 53 電話 0172-33-5111 Email t-okamoto@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205